

# 第1回 Tech Direction Awards

## 応募要項

### ■開催趣旨

近年、世の中で使われるシステムはどんどん複雑化しています。それに伴い、デジタル技術を利用したさまざまなプロジェクトにおいてテクニカルディレクションの必要性が高まっているものの、まだまだ世の中に浸透していない状況です。

テクニカルディレクションアワード (Tech Direction Awards) は、アイデアや表現だけでなく、それらを実現するためのテクニカルディレクションが優れているプロジェクトを表彰し、普段スポットライトの当たりづらい“テクニカルディレクションの重要性”を伝えることを目的として2023年に発足しました。

### ■応募作品

応募する作品が、下記に該当するかを必ず確認の上でご応募ください。

- 2023年4月1日から2024年3月31日までの間に発表、または大幅にアップデートされた作品。  
※応募する作品数に制限はありませんが、同一の作品を複数の部門に重複して応募することはできません。
- 応募者は作品の著作権を有することが必要です。  
作者 (著作権者) 以外の方が応募する場合は、必ず著作権者に承諾を得てください。

### ■応募資格

- ・性別、年齢、国籍不問
- ・個人に限らず、グループ・法人での応募も可
- ・未成年の方 (18歳未満) は、事前に保護者の方の同意を得てください  
(グループ・法人での応募の場合は、メンバー全員が該当)
- ・日本語でのコミュニケーションが可能な方 (グループ・法人での応募の場合は、最低でも 1 名が該当)

### ■スケジュール

応募期間: 2024年1月31日(水) ~ 4月15日(月) 提出期限は23時59分まで

審査期間: 2024年4月 ~ 6月予定

最終審査通過者ご連絡: 2024年7月予定

表彰式: 2024年8月予定

表彰作品展示イベント: 2024年内予定

※表彰式、および表彰作品展示イベントの開催時期、場所については決定次第、公式ウェブサイトでお知らせします。

### ■カテゴリー

以下の5部門で募集します。

#### 1. Digital Product (デジタルプロダクト部門)

デジタル技術を利用したハードウェアプロダクトの中で、優れたテクニカルディレクションが行われていると考えられるプロジェクトを表彰します。一般に展示/公開された作品であれば、製品化していなくとも審査対象とします。

市販されたプロダクトについては、優れた持続性・耐久性・量産体制を評価します。プロトタイプ作品の場合は、プロトタイプの目的、及びそれに即した実装の合理性を評価します。プロトタイプ作品については、プロダクトとしてのアイデアのみを評価はいたしません。

## 2.Digital Service (デジタルサービス部門)

デジタル技術を利用した、一般ユーザーに広く提供されているサービスの中で優れたテクニカルディレクションが行われていると考えられるプロジェクトを表彰します。

オンスクリーン/オフスクリーンは問いませんが、何らかの形でバックエンドシステムと連携しているものを対象とします。

一般に公開されていないプロトタイプは含みませんが、一般利用が可能なα版・β版は審査対象とします。

本部門においては、フロントエンドとバックエンドシステムの優れた連携、レスポンス及び優れた設計、インフラ含む全体構造を評価します。

## 3.Digital Experience (デジタルエクスペリエンス部門)

デジタル技術を利用した展示物・エンターテインメント公演・メディアアート作品・映像作品の中で優れたテクニカルディレクションが行われていると考えられるプロジェクトを表彰します。一般に展示/公開された作品であれば、プロトタイプも審査対象とします。

本部門においては、常設展示物などの耐久性を要する作品の場合は持続性・耐久性への配慮、プロトタイプ及び短期展示物の場合は、短期展示に即した効率化・簡略化なども評価します。

## 4.Website / App (ウェブサイト・アプリ部門)

ウェブサイトやスマートフォン向けのアプリの中で、優れたテクニカルディレクションが行われていると考えられるプロジェクトを表彰します。

一般に公開されていないプロトタイプは含みませんが、一般利用が可能なα版・β版は審査対象とします。

本部門においては、ウェブサイト上でのインタラクティブ体験の実装や演出的な実装も含めて評価を行います。コンテンツの内容については、実装と直接関係しない領域については評価いたしません。

## 5.R&D / Prototype (R&D・プロトタイプ部門)

デジタル技術を利用した、R&Dのデモンストレーションコンテンツやプロトタイプの中で、優れたテクニカルディレクションが行われていると考えられるプロジェクトを表彰します。

## ■各賞

- ・各部門ごとに、3つの賞 (Gold, Silver, Bronze) を1作品ずつ選出予定です。
- ・上記各賞のほか、優れたテクニカルディレクションを行っている作品またはプロジェクトチームを「Special Prize (特別賞)」として審査員が選出いたします。
- ・該当作品なしとする場合もあります。

## ■トロフィーと副賞

- ・受賞者は、NFTトロフィーが授与されるほか、表彰式のご案内、Webサイトおよびプレスリリースにて掲載され、後日特設会場にて展示公開される予定です。(詳細はWebサイト等で後日発表)
- ・展示方法等は、受賞者と協議のうえ決定いたします。

## ■審査基準・評価の視点

国内外で幅広く活躍する審査員が、提供された資料および一般公開されている情報等から理解できる範疇において評価します。主な審査視点は下記の通りです。

- ・テクニカルディレクションによる革新的な体験や表現の創出
- ・テクニカルディレクションによる高いサービス品質の創出
- ・最新のテクノロジーや新たなテクノロジーの使い方を示した事例

## ■審査員（五十音順）

- ・大西 拓人（ソニーグループ株式会社 コーポレートテクノロジー戦略部門 コンテンツ技術&アライアンスグループ シニアテクニカルディレクター）
- ・岡田 敦子（株式会社ファブリカ プロデューサー）
- ・荻野 靖洋（株式会社コネル テクニカルディレクター / 株式会社知財図鑑 知財ハンター）
- ・久我 尚美（株式会社博展 テクニカルディレクター）
- ・今 雄一（note株式会社 CTO）
- ・西濱 大貴（株式会社 博報堂 テクニカルディレクター）
- ・馬場 鑑平（株式会社バスキュール クリエイティブディレクター）
- ・森岡 東洋志（ベースドラム株式会社 テクニカルディレクター / 一般社団法人テクニカルディレクターズアソシエーション 発起人）

## ■審査の流れ

### [予備審査]

審査員の中から選出された選考委員により、各部門10作品程度を選出

↓

### [本審査]

審査員全員のディスカッションにより、各部門の表彰作品を決定

※作品に利害関係のある審査員は、当該作品についての審査には参加しません。

※通過者にのみ、表彰式のご案内をいたします。

↓

### [結果発表]

表彰式イベントおよびWebサイトにて発表

## ■応募方法

ご応募の際にはGoogleアカウントが必要です。ログインいただいた状態で、本ウェブサイトのエントリーフォームから、以下の内容をご提出ください。なお、応募にあたっては、本応募要項をすべてよくお読みいただき、同意の上でご応募ください。

### ①作品概要

- ・応募部門
- ・プロジェクト名（作品名）
- ・プロジェクトオーナー名（クライアント企業名または作品保有者名）
- ・プロジェクト概要（200～600字目安）
- ・公式サイトURL
- ・制作クレジット

### ②作品詳細（審査にのみ使用する情報です。一般公開は予定していません）

- ・テクニカルディレクションについてのポイント
- ・関連URL（動画など）※簡易撮影のデモ動画でも可
- ・関連URL（プレスリリース、記事、noteなど）
- ・作品を実際に体験できる場所やWebサイトがあればお知らせください
- ・関連資料（pdf / 画像、最大10MB）

※写真を投稿する際のご注意

- ・アップロード可能形式 : jpg / png / gif / pdf
- ・アップロード可能容量 : 10MB

※すべての PC・スマートフォン端末、OSバージョンでの動作を保証しているわけではありません。お使いの端末や環境によって応募いただけない場合もございます。予めご了承ください。

※エントリー内容は、応募者のGoogleアカウントにログインいただいた状態であれば、応募受付期間中は修正が可能です。申し込み完了時に自動送信されたメールから修正してください。

## ■注意事項

- ・応募者は作品の著作権を有することが必要です。作者（著作権者）以外の方が応募する場合は、必ず著作権者に承諾を得てください。
- ・作品中に使用される美術、映画、写真、映像、プログラムおよび音楽等については、必ず著作権者の許諾を得た上で応募してください。第三者からの権利侵害、損害賠償等の主張がなされたとしても、応募者が自らの責任で対処することとし、主催者は一切の責任を負いません。
- ・審査員の判断により、作品の形態によって応募部門を変更する場合があります。
- ・エントリーは無料ですが、そのほか応募に伴う一切の費用は、応募者の負担となります。
- ・提出された応募作品・資料は、原則として返却いたしません。
- ・作品の送付及び審査の過程において、万一の損傷や紛失が生じた場合、主催者は一切の補償はいたしません。
- ・審査の状況によっては追加資料の提出もしくはお打ち合わせが必要となる場合があります。
- ・応募作品の審査経過・結果についてのお問合せは、事務局ではお受けできません。
- ・審査過程の範囲に限り、応募された作品・資料について複製等の行為をさせていただくことがあります。
- ・応募によって作品の著作権が主催者へ移転することはありませんが、表彰作品は、主催者による審査結果発表、表彰作品の展示イベント、広報およびその他関連事業において、複製、上映、公衆送信（放送・ウェブサイトによる公開）、展示、翻訳等の行為を無償でさせていただくことがあります。
- ・未成年の方（18歳未満）は、事前に保護者の方の同意を得てください。また、保護者の方と一緒に本応募要項を確認してください。
- ・本アワードは、やむを得ない事情により、内容の変更、中止する場合があります。その場合は公式サイト等でお知らせします。
- ・本アワードに関し、万が一主催者と応募者との間で紛争（裁判所の調停手続を含む。）が生じた場合、第一審の専属的合意管轄裁判所は、東京地方裁判所とします。
- ・下記の内容に該当する作品は応募できません。
  - 第三者に迷惑、不利益、損害又は不快感を与える作品
  - 第三者を誹謗中傷し、又はその名誉若しくは信用を毀損する作品
  - 第三者の著作権その他の知的財産権含む一切の権利を侵害する作品
  - 第三者の財産、プライバシー若しくは肖像権を侵害する作品
  - わいせつ、児童ポルノ及び児童の性的搾取を助長する作品
  - 公序良俗に反する作品

## ■禁止行為

本アワードへの応募にあたっては、以下の禁止行為は行わないでください。禁止行為を発見した場合、応募や審査、表彰を無効としたり、権利者に連絡したりするなど、然るべき対処を取るものとします。

- ・応募要項、法令等に違反する行為
- ・本アワードの運営を妨げる行為
- ・第三者に迷惑、不利益、損害又は不快感を与える行為
- ・第三者を誹謗中傷し、又はその名誉若しくは信用を毀損する行為

- ・第三者の著作権その他の知的財産権含む一切の権利を侵害する行為
- ・第三者の財産、プライバシー若しくは肖像権を侵害する行為
- ・わいせつ、児童ポルノ及び児童の性的搾取を助長するデータを応募する行為
- ・営利を目的とした情報提供、広告宣伝もしくは勧誘行為
- ・選挙活動、またはこれに類する行為、その他政治もしくは宗教に関する行為
- ・公序良俗に反する行為、犯罪行為、またはそのおそれのある行為
- ・虚偽または誤認を与える情報を入力、送信する行為
- ・第三者になりすます行為（他人の作品を無断でコピーしてあたかも自分が制作した作品のようにみせて応募するなどの行為）
- ・主催者の関係者や他の応募者に対し、暴力、威迫、威力もしくは偽計を用い何らかの要求をなし、または不当な要求をすること
- ・その他、主催者が不適切であると判断する行為

## ■個人情報の取り扱い

応募にあたり、氏名、メールアドレス等の連絡先情報（以下、「個人情報」）をお伺いします。その際、ご提供いただいた個人情報は、別途当オフィシャルサイト上で掲載するプライバシーポリシー (<https://tech-director.org/privacy>) に基づき、適切に取り扱うものとします。

## ■FAQ

Q: 1つの作品を複数部門にエントリーできますか？

A: いいえ、できません。1作品につき1部門のみの応募です。

ただし、審査員の判断により、作品の形態によって応募部門を変更する場合があります。

Q: エントリーシートや映像、資料などは公開されるのですか？

A: 表彰作品の作品概要のみ、弊社主催のイベント会場やサイトにて使用する場合がございます。

Q: 提出資料は、英語でもよいですか？

A: 英語でも構いませんが、審査は日本語で行います。

Q: Googleアカウントがなく、作成もできないのですが、応募できませんか？

A: 個別のご対応を検討しますので、お問い合わせフォームよりご相談ください。

Q: 説明動画がなく、制作費もないのですが、どうすればいいですか？

A: 応募対象の概要が理解できる内容であれば、スマートフォンのムービー機能を用いて撮影したもので構いません。

また、パワーポイントなどのプレゼンテーションソフトで説明を作り、それをムービー形式で出力したファイルでも構いません。

Q: エントリーフォームで送付したい資料のファイル容量が10MBを超えてしまいます。

A: 10MBを超えてしまう場合、YouTubeやVimeoなどの動画アップロードサービスをいただくか、GoogleDriveやDropboxなどの外部ストレージにアップロードいただき、備考欄等にURLを記入してください。

Q: Webページを参考資料として提出したいのですが、審査が終了するまでの間にリンクが切れてしまいます。

A: 2024年7月末まで閲覧できるWebページのみを提出してください。リンク切れの場合であっても、そのまま審査されますのでご注意ください。

Q: 制作クレジットは、企業名、個人名、どちらで書くべきでしょうか？

A: エントリーフォームの「プロジェクトオーナー名」「制作クレジット」については自由記述です。企業名とするか、個人名とするかは応募者のご判断にお任せいたします。

Q: 応募作品に、スポンサーや審査員の企業関わっていたら応募できませんか？

A: スポンサーおよび審査員の影響が出ないように公平性に配慮して審査を行いますので、ご応募可能です。

審査員が所属する企業が制作に携わっている作品の審査については、発言権・投票権を持たないものとします。

## ■応募に関するお問い合わせ

・お電話でのお問い合わせは、お受けできません。

・応募についてのご質問は、下記お問い合わせフォームからテクニカルディレクションアワード事務局までお問い合わせください。選考の経過・結果につきましては、いかなるご質問にも回答できません。

お問い合わせはこちら

<https://forms.gle/24A6Gq8mmUhTpCGc9>

## ■主催

一般社団法人 テクニカルディレクターズアソシエーション

<https://tech-director.org/>

## エントリーフォームはこちら

<https://forms.gle/C287QiGGxXEvfxbA>

応募期間：2024年1月31日(水) ~ **4月30日(火) 23時59分**

エントリーにはGoogleアカウントでのログインが必要です

## ■改訂履歴

バージョン	改訂日	改訂内容
1.0	2024/1/31	初版発行
1.1	2024/2/5	エントリーフォームの入力項目「制作クレジット」を「②作品詳細」から「①作品概要」に変更しました FAQに、制作クレジットの表記についての回答を追加しました
1.2	2024/3/18	FAQに、応募条件についての回答を追加しました
1.3	2024/3/29	応募締切を延長しました